

みちしるべ NO. 8

学校教育目標「自分から行動できる子・すすんで学ぶ子・たすけ合う子・きたえる子」



学びあい 支えあい 高めあい 笑顔あふれる学校
優しさと厳しさと温かさで
子どもを鍛え、育む地域の学校を目指して



夏休み・オリンピック・冒険心

校長 川島 正晴

梅雨空の続く中、1学期も無事に過ごすことができました。下校時の安全見守りをしてくださる方々、読み聞かせをしてくださる方々、応援団として学習に参加してくださる方々、皆様に心から感謝申し上げます。

権小は今年も「前向き」で「挑戦」を続けています。学び合いで確かな学力を、タブレットで GIGA スクールの実現を。保護者の皆様の温かく協力的なご対応に学校は助けられ、子どもたちは着実に成長しています。



1学期を振り返れば、児童会・6年生が協力して作り上げた全校遠足、なぞなぞかくれんぼスタンプラリー、プール清掃、PTA 総会・学習参観・懇談会、学校運営協議会、ケナフの種まき、まこもの馬づくり、七夕集会……。やれることはすべてやりました。市内陸上競技大会の学校記録会、市内全校水泳学習中止、音楽会や科学展の中止や変更と、できなくなったこともあります。前を向いて頑張る子どもたちの姿に心を打たれました。保護者や地域の方々の子どもたちへの温かなまなざしと厳しい御指導もありがとうございました。お家でも1学期を振り返り、その成長の喜びを分かち合い、課題をみつめて夏休み・2学期からの努力につなげましょう。

もうすぐ夏休みです。オリンピックも開催されます。宿題は早く終わるかな。コロナはどうなるかな。オリンピックの応援している選手や国はどうなるのかな。楽しみでもあり、不安でもあります。脳科学者の茂木健一郎さんは、次のように述べています。

人間の脳は、感動することで活性化されていきます。そういう意味からすれば、感動なき人生は、生きていないのも同然。人生の中にたくさんの感動があるからこそ、それは豊かになっていくのです。

では客観的に考えて、その感動はどこから生まれるのか。感動の素はどこにあるのでしょうか。その一つは意外性にあります。人は不意打ちされた時に、感情が高ぶるという傾向があるのです。

意外性の他にも、今一つ人間の感情をゆさぶるものがある。それは、「なつかしき」というものです。

(茂木健一郎『脳が変わる生き方』2013, 172-173頁より抜粋)

何が起きるかわからない夏休み。宿題も、遊びも、冒険心をいっぱいもって、いろいろなことに挑戦してみましょう。感動いっぱいの夏休みにしましょう。オリンピックも何が起きるかわかりません。みんなの願いが届くといいですね。幸手市がホスト国のベナン共和国の選手にも応援の声を届けましょう。保護者・地域の皆様のご理解とご支援に感謝を申し上げ、1学期を終了します。

元気な笑顔で2学期にお会いしましょう。感染防止と冒険心の両立をお願いします。